

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	池上藤（俳句）
Author(s)	春野，晩翠
Citation	龍南， 1 7 5： 1 0 8 - 1 0 8
Issue date	1920-06-10
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/6994
Right	

あ　る　淋　し　き　男

花　田　鐵　太　郎

髪分けてふくろふの笛ふく男はあはれ破れし戀をなくめり
嫁くといふ人の前にて正座法なごして見する友はあはれ悲しも
蛇毒おそれしころは我もまたあごけなき子とたゝへられしか
むしろ死であれとおもへるこの宵のわかれをかざる優曇華の花
涙なき女はねたし憎ましゝむしろ闇路にひとり泣きてむ
すてられしことさへ今は身のとがとあきらめし目に空はまぶしき
いつしかにほたるの戀の夜となりぬ濠端をゆくわれはもたせり

池　　上　　藤

春　野　晚　翠

池の面にかゝれる藤の下かけは紫ふかき波やたつ覽
思へともなを逢ふことは片糸のいつか解くらむ戀のみこれを

(寄糸戀)